

2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月13日
東

上場会社名 株式会社エンビプロ・ホールディングス 上場取引所
コード番号 5698 URL <https://www.envipro.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 文勝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理管掌 (氏名) 竹川 直希 (TEL) 0544-21-3160
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	9,991	△18.5	422	—	440	952.5	301	780.0
2025年6月期第1四半期	12,259	△4.3	△133	—	41	△92.0	34	△90.5

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 315百万円(—%) 2025年6月期第1四半期 △26百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	10.64	10.19
2025年6月期第1四半期	1.13	1.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	31,031	17,022	53.5
2025年6月期	31,299	17,309	54.0

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 16,612百万円 2025年6月期 16,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年6月期	—				
2026年6月期(予想)		0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	43,000	△12.4	1,300	33.7	1,700	39.8	1,300	10.6
								45.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年6月期1Q	30,317,388株	2025年6月期	30,317,388株
2026年6月期1Q	2,000,728株	2025年6月期	1,661,184株
2026年6月期1Q	28,357,934株	2025年6月期1Q	30,210,558株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信 (添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」) をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業領域においては、中国経済の減速に伴い鉄鋼製品需要が低下し、前連結会計年度の鉄スクラップ国際取引価格は下落傾向で推移いたしました。日本国内でも、前第1四半期連結累計期間の鉄スクラップ価格は最大約20%の下落する局面がありましたが、その後は円安の進行を背景に国際市況の下落幅が縮小し、現在は40,000円/トン前後の水準を安定的に維持しております。

このような市況環境のもと、当第1四半期連結累計期間においては、前年同期と比べ鉄スクラップ相場が安定したことにより、価格変動リスクが緩和されました。さらに、市況要因に加え、当社グループが継続的に進めてきた構造改革の成果が徐々に表面化し、全セグメントにおいて増益を達成、良好なスタートを切ることができております。

今後とも「サーキュラーエコノミー（CE）をリードする」という戦略コンセプトのもと、CEの具体的事例の実現に向けて事業を推進し、サービス事業の拡大によるポートフォリオの組み換えを進め、資源価格の変動に影響されにくい体質作りを目指してまいります。

以上の結果、売上高は9,991百万円（前年同期比18.5%減）、営業利益は422百万円（前年同期は133百万円の営業損失）、経常利益は440百万円（前年同期比952.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は301百万円（前年同期比780.0%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

セグメント別業績の概要

《売上高》

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減比
資源循環事業	4,792	4,926	2.8%
グローバルトレーディング事業	8,051	5,482	△31.9%
リチウムイオン電池リサイクル事業	465	630	35.6%
その他	134	161	20.3%
調整額	△1,183	△1,210	—
合 計	12,259	9,991	△18.5%

《セグメント利益》

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減比
資源循環事業	85	259	203.7%
グローバルトレーディング事業	6	115	1,670.6%
リチウムイオン電池リサイクル事業	50	151	202.1%
その他	27	59	112.9%
調整額	△127	△144	—
合 計	41	440	952.5%

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

① 資源循環事業

鉄スクラップ価格が安定的に推移したことに加え、大手メーカー向けの営業強化により原材料の確保が進みました。また、ゴム関連事業の受注も好調に推移し、増収増益を達成しました。大型投資案件として8月に新設したRPF※製造ラインも順調に稼働開始し、利益に貢献しはじめております。

以上の結果、資源循環事業の売上高は4,926百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益は259百万円（前年同期比203.7%増）となりました。

※RPF：廃プラスチック類と紙ごみ類を主原料に圧縮してつくる、CO2排出量を削減できる環境配慮型燃料。

②グローバルトレーディング事業

物流代行サービスにおいては、需給バランスを見極め、適正価格でサービスを提供したことにより堅調に推移しました。一方、金属原料のトレーディング事業では、取引形態の変更に伴う収益認識基準の適用により、形式上は大幅な減収となりました。しかしながら、構造改革の成果が徐々に表面化する中、鉄スクラップ価格の安定推移も寄与し、収益性は改善して増益を確保しました。

以上の結果、グローバルトレーディング事業の売上高は5,482百万円（前年同期比31.9%減）、セグメント利益は115百万円（前年同期比1,670.6%増）となりました。

③リチウムイオン電池リサイクル事業

電池材料に用いられる各種レアメタル相場が安定的に推移したことに加え、加工受託案件を中心に取扱量を増加させたことにより、前年同期比で増収増益となりました。今後も国内シェア拡大を目指し、積極的に設備投資を推進してまいります。

以上の結果、リチウムイオン電池リサイクル事業の売上高は630百万円（前年同期比35.6%増）、セグメント利益は151百万円（前年同期比202.1%増）となりました。

④その他

障がい福祉サービス事業は、登録利用者の減少等により減収減益となりました。一方で、環境経営コンサルティング事業では受注が増加し増収増益となりました。

以上の結果、その他事業の売上高は161百万円（前年同期比20.3%増）、セグメント利益は59百万円（前年同期比112.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は31,031百万円（前連結会計年度末比267百万円の減少、0.9%減）となりました。流動資産は15,438百万円（前連結会計年度末比436百万円の減少、2.7%減）となりました。これは、商品及び製品が729百万円、受取手形及び売掛金が85百万円増加したものの、現金及び預金が1,192百万円、その他流動資産が64百万円減少したこと等によります。固定資産は15,593百万円（前連結会計年度末比168百万円の増加、1.1%増）となりました。これは、建設仮勘定が408百万円、建物及び構築物が32百万円減少したものの、機械装置及び運搬具が547百万円、投資有価証券が71百万円増加したこと等によります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は14,009百万円（前連結会計年度末比19百万円の増加、0.1%増）となりました。流動負債は8,920百万円（前連結会計年度末比191百万円の増加、2.2%増）となりました。これは、買掛金が340百万円、未払法人税等が78百万円減少したものの、短期借入金が480百万円、賞与引当金が170百万円増加したこと等によります。固定負債は5,088百万円（前連結会計年度末比172百万円の減少、3.3%減）となりました。これは、長期借入金が202百万円減少したこと等によります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は17,022百万円（前連結会計年度末比287百万円の減少、1.7%減）となりました。これは、自己株式の取得により172百万円、利益剰余金が128百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月13日付の決算短信で公表いたしました2026年6月期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,007,668	5,815,040
受取手形及び売掛金	3,973,571	4,058,617
商品及び製品	3,249,531	3,979,459
仕掛品	96,671	95,896
原材料及び貯蔵品	674,419	678,601
その他	889,972	825,368
貸倒引当金	△17,311	△14,537
流動資産合計	15,874,523	15,438,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,634,433	8,675,854
減価償却累計額	△5,508,958	△5,582,932
建物及び構築物（純額）	3,125,474	3,092,922
機械装置及び運搬具	16,598,579	17,385,716
減価償却累計額	△13,383,207	△13,623,214
機械装置及び運搬具（純額）	3,215,372	3,762,501
土地	3,843,049	3,843,049
建設仮勘定	634,703	226,540
その他	1,004,593	1,024,770
減価償却累計額	△847,336	△859,236
その他（純額）	157,256	165,534
有形固定資産合計	10,975,856	11,090,548
無形固定資産		
のれん	20,314	19,512
その他	166,177	162,906
無形固定資産合計	186,491	182,418
投資その他の資産		
投資有価証券	3,705,560	3,776,966
出資金	17,093	9,330
繰延税金資産	448,089	445,778
その他	163,997	160,551
貸倒引当金	△72,207	△72,525
投資その他の資産合計	4,262,533	4,320,101
固定資産合計	15,424,880	15,593,069
資産合計	31,299,404	31,031,516

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,180,648	2,840,334
短期借入金	2,890,000	3,370,000
1年内返済予定の長期借入金	982,078	977,068
リース債務	86,749	94,264
未払法人税等	236,938	158,870
賞与引当金	108,676	279,638
その他	1,243,972	1,200,588
流動負債合計	8,729,063	8,920,764
固定負債		
長期借入金	3,649,178	3,446,866
リース債務	127,344	160,485
再評価に係る繰延税金負債	58,791	58,791
退職給付に係る負債	1,106,718	1,106,867
資産除去債務	191,860	191,966
その他	126,558	123,424
固定負債合計	5,260,451	5,088,401
負債合計	13,989,514	14,009,165
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,580,215	1,580,215
資本剰余金	2,022,925	2,022,925
利益剰余金	14,005,015	13,876,784
自己株式	△788,801	△961,769
株主資本合計	16,819,354	16,518,155
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,851	13,237
土地再評価差額金	13,829	13,829
為替換算調整勘定	62,543	67,050
その他の包括利益累計額合計	79,224	94,117
新株予約権	318,899	318,899
非支配株主持分	92,410	91,177
純資産合計	17,309,889	17,022,350
負債純資産合計	31,299,404	31,031,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	12,259,219	9,991,037
売上原価	10,659,527	8,023,221
売上総利益	1,599,691	1,967,815
販売費及び一般管理費	1,733,513	1,545,768
営業利益又は営業損失(△)	△133,822	422,046
営業外収益		
受取利息	632	5,639
持分法による投資利益	96,987	61,109
為替差益	53,843	—
受取賃貸料	9,145	9,261
その他	55,397	16,057
営業外収益合計	216,007	92,068
営業外費用		
支払利息	11,527	12,503
為替差損	—	40,841
減価償却費	13,715	8,861
その他	15,076	11,283
営業外費用合計	40,319	73,490
経常利益	41,864	440,624
特別利益		
固定資産売却益	329	2,386
投資有価証券売却益	10,517	—
特別利益合計	10,846	2,386
特別損失		
固定資産除却損	1,260	0
固定資産売却損	150	—
特別損失合計	1,410	0
税金等調整前四半期純利益	51,301	443,010
法人税等	17,026	142,631
四半期純利益	34,274	300,379
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,232
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,274	301,612

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	34,274	300,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,988	10,386
為替換算調整勘定	△34,689	4,506
その他の包括利益合計	△60,678	14,893
四半期包括利益	△26,403	315,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,403	316,505
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,232

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	資源循環	グローバル トレーディ ング	リチウムイ オン電池リ サイクル	計				
売上高								
鉄	593,653	5,429,547	—	6,023,201	—	6,023,201	—	6,023,201
非鉄金属	867,825	956,438	—	1,824,264	—	1,824,264	—	1,824,264
ゴム製品	1,374,897	15,397	—	1,390,295	—	1,390,295	—	1,390,295
物流代行(注4)	—	1,288,191	—	1,288,191	—	1,288,191	—	1,288,191
LIB関連	—	—	366,159	366,159	—	366,159	—	366,159
その他	983,023	255,887	—	1,238,911	128,195	1,367,106	—	1,367,106
顧客との契約から生じ る収益	3,819,401	7,945,462	366,159	12,131,024	128,195	12,259,219	—	12,259,219
外部顧客への売上高	3,819,401	7,945,462	366,159	12,131,024	128,195	12,259,219	—	12,259,219
セグメント間の内部 売上高又は振替高	972,709	105,657	99,003	1,177,370	6,138	1,183,509	△1,183,509	—
計	4,792,110	8,051,120	465,163	13,308,394	134,334	13,442,728	△1,183,509	12,259,219
セグメント利益	85,498	6,537	50,000	142,036	27,759	169,795	△127,931	41,864

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境経営コンサルティング事業、障がい福祉サービス事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△127,931千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	資源循環	グローバル トレーディ ング	リチウムイ オン電池リ サイクル	計				
売上高								
鉄	531,047	3,129,231	—	3,660,279	—	3,660,279	—	3,660,279
非鉄金属	1,007,933	1,195,486	—	2,203,420	—	2,203,420	—	2,203,420
ゴム製品	1,438,075	30,985	—	1,469,060	—	1,469,060	—	1,469,060
物流代行(注4)	—	888,664	—	888,664	—	888,664	—	888,664
LIB関連	—	—	417,559	417,559	—	417,559	—	417,559
その他	1,021,037	175,436	—	1,196,474	155,578	1,352,052	—	1,352,052
顧客との契約から生じ る収益	3,998,094	5,419,804	417,559	9,835,458	155,578	9,991,037	—	9,991,037
外部顧客への売上高	3,998,094	5,419,804	417,559	9,835,458	155,578	9,991,037	—	9,991,037
セグメント間の内部 売上高又は振替高	928,251	63,189	213,103	1,204,544	5,959	1,210,503	△1,210,503	—
計	4,926,345	5,482,994	630,662	11,040,002	161,537	11,201,540	△1,210,503	9,991,037
セグメント利益	259,620	115,746	151,060	526,426	59,095	585,522	△144,898	440,624

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境経営コンサルティング事業、障がい福祉サービス事業を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△144,898千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 当第1四半期連結累計期間より、従来の「中古自動車」を「物流代行」に名称変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、変更後の名称で記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	341,614千円	343,036千円
のれんの償却額	801 "	801 "